

千年の森便り No.120

2013.9.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

9月21日(土)晴 9月16日の定例活動日を18号台風のため延期して実施

参加は伊藤、栗山、根本、福島、松田、真鍋、ミ、山口に船橋の田島さんも加わり9名。急な日程変更のため、参加者は少ないながら、二ホンジカ生息状況調査に続いて、千年広場の案内板建て替え、キノコ観察、昆虫観察、クロムヨウラン調査、植物観察など実施し、天候と沢山のきのこに恵まれ、楽しい一日でした。特に根本さんの尽力で、千年広場の案内板を建て替え出来たのがこの日最大の成果でした。(真鍋)



「千年の森」新案内板落成記念撮影

○「千年の森」案内板の建て替え

新案内板は従来のイメージを継承するとともに、豊英湖に浮かぶ島を強調しました。島の形を立体的に表現し、島の周りが危険な崖に囲まれている様子が分かるようにしました。島で目に付く植物やキノコまたはトビなどを周りにあしらってみました。柱は檜の間伐材、案内板は杉板を炙り、磨いた後塗装したものです。「千年の森」表札板は千年の荘厳なイメージを文字に現したく太字の「江戸勘亭流」文字を引用しました。材料は檜の木で文字を彫刻してあります。全体に防腐、防水塗料を施してありますが、定期的にメンテナンスを要すると思います。

古い案内板の撤去作業後、建て位置を決め、穴掘り、柱枠組、案内板張り付け作業等少ない人数でしたが、和気あいあいと建て終わり、案内板の前で記念撮影をしました。(根本)



旧案内板を撤去し



柱枠組み



案内板張りつけて据付

「千年の森」案内板は、04年9月、当時の長村木工班長の匠の技による製作と多くの会員の協力で建てられ、会のシンボリック的存在でしたが、老朽化のため更新が望まれていました。この度、根本さんの資材準備・設計・製作と皆さんの協力で、9年ぶりに建て替え出来ました。根本さん、参加の皆さん、有難うございました。(真鍋)

○二ホンジカ生息状況調査

いつものように7コースに分かれて島内を一斉に踏査し、二ホンジカの生息状況調査を行いました。今回の調査は、参加者が7名で、各コースをそれぞれ1名が担当する形で実施しました。結果は、二ホンジカの確認はなし。フンや足跡も新しいものは確認できませんでした。そろそろ発情期を迎えるために、オスジカの出現が期



待されましたが、残念ながら少し時期が早かったようです。次回の活動日に期待したいと思います。(福島)

○キノコ観察調査

今年の夏は、記録的猛暑に見舞われ、キノコも生育が遅れ8月19日の観察会でも期待するほどの標本が採れませんでした。本来、この時期に生えるべきキノコが、全国的に今頃になって一斉に発生しております。千年の森もその例外でなく、房総では初夏のキノコのテングタケ科とイグチ科のキノコが圧倒しました。猛暑の年はこのような現象が良く見られ、秋のキノコも豊作であると言われておりますので、密かに期待するところです。

9月21日キノコ観察記録 合計 38 種を記録しました。

キシメジ科 ヒメカバイロタケ

ナヨタケ科 ミヤマザラミノヒトヨタケ

ハラタケ科 ウスキモリノカサ・ノウタケ

テングタケ科 コテングタケモドキ・コナカブリテングタケ・カバイロツルタケ・タマゴタケ・ドクツルタケ・
テングタケダマシ・ウスキテングタケ・シロオニタケ・コシロオニタケ・シロタマゴテングタケ

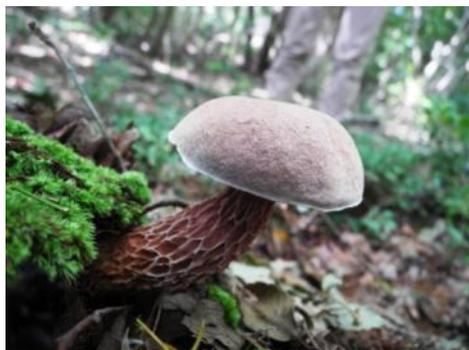
イチョウタケ科 ニワタケ

イグチ科 アメリカウラベニイロガワリ・キイロイグチ・イロガワリヤマイグチ・キクバナイグチ・ニセアシバ
ニイグチ・ヤマドリタケモドキ・アカヤマドリ・ヤマドリタケモドキの仲間・ベニイグチ・セイタカ
イグチ・アシナガイグチ・コガネイグチ・ブドウニガイグチ・アワタケの仲間・不明種 3 種

ベニタケ科 クサハツ・シロハツ・ヤブレベニタケ・不明種

タマチョレイタケ科 ツヤウチワタケ・カワラタケ

分類は、DNA解析による新分類としましたので、ノウタケはハラタケ科に移動しました。(松田)



セイタカイグチ(9/21 松田)



タマゴタケ(9/21 ミ)



38 種を前に松田講師の名解説

昼食に、松田さん調理のタマゴタケ、アカヤマドリ、ヤマドリタケモドキを美味しく頂きました。ご馳走様でした。(真鍋)

○植物調査

巨木林とホテイチク林の落葉をかき分け、手分けしてクロヤツシロランの花を探しましたが、残念ながら見つかりません。3年前の10月、果実(朔果)が多数確認され、その後毎秋朔果は見つかりますが、一度も開花を見ていません。10月にはどうしても花を見たいものです。人海作戦にご協力お願いします。(真鍋)

○クロムヨウラン調査

クロムヨウランの種子を採取しました。活動日が延期されたため、この日が種子採取の適期となり、今年の研究に必要な充分量の種子を採取出来ました。(ミ)

OGPS 利用調査が始まる

豊英島は全島が森林に覆われて明確な目印がないため、せっかく見つけた希少種の位置があいまいになってしまうことが時々おきます。今年度の助成金で購入したGARMIN社 GPS 機を積極的に利用して、希少種の位置を記録する作業が始まりました。今後、希少種自生位置確認記録をメインに、シンボルツリー、保護柵、案内板などの位置情報を明確にして様々な場面で有効に利用したいと思います。(伊藤)

○昆虫観察

ミドリヒョウモンがオトコエシやコウヤボウキの花々で蜜を吸っていた。ホタルガが多く飛んでいたが、昼にひらひら飛んでいるのは体に毒があるためらしい。翅の短いタンザワフキバッタ(背赤型)、ピカピカのオオセン

チコガネとの出会いはうれしい。ダム湖の周辺ではノシメトンボなどのアカトンボ類がたくさんいた。そろそろ高山で過ごしたアキアカネが下りてくるころだが、越夏組のメスを見かけただけ。(文・写真とも田島さん)
(他に観察された昆虫) キタキチョウ、コムスジ、ヒメジャノメ、チャバネセセリ、ギンヤンマ、ウスバキトンボ、ナツアカネ、オオアイトトンボ、ノコギリクワガタ、オオアトボシアオゴミムシ、コキベリアオゴミムシ、オオモンシロナガカメムシ、ツクツクボウシ、アオバハゴロモ、クロスズメバチ、ヒメスズメバチ、フタスジスズバチ、キンケハラナガツチバチ、スキバツリアブ、アオマツムシ、ヒシバッタ sp、カネタタキ、ヤマトシリアゲ、オオカマキリ、モリチャバネゴキブリ(成虫、幼虫)



ミドリヒョウモン♀



オオセンチコガネ



タンザワフキバッタ



ホタルガ

9月23日(月・祝日)晴 坂本文雄さんは、センサーカメラのメモリー交換のため入林、野鳥調査等行いました。

○野鳥観察記録 (メモの順)

ヤマガラ声 カケス声 シジューカラ声 ミサゴ1 ハシブトガラス声 エナガ声 トビ2 以上7種
やや強い風のために葉擦れの音が高かった事とセミの声で小鳥の声が聞こえ難い日でした。それにしても鳥が少なく、常連のトビ、ヒヨドリさえ記録無し終わるかと思われました。島を出る時、吊橋の上で立ち止まり何度も振り返って、最後にトビ2羽をやっと見ることが出来ました。坂本(文)

お知らせ

○新入会員紹介 木更津市 菊地孔明さん 9月11日入会、宜しくお願いします。9月21日現在会員数は43名です。

○10月活動日のご案内 10月20日(日) 添付ご案内の通り、きのご観察会を行います。会員以外の一般参加も募集しています。参加希望者は急ぎ申込み下さい。定員に達し次第受付を打ち切りますのでご注意下さい。